資料３

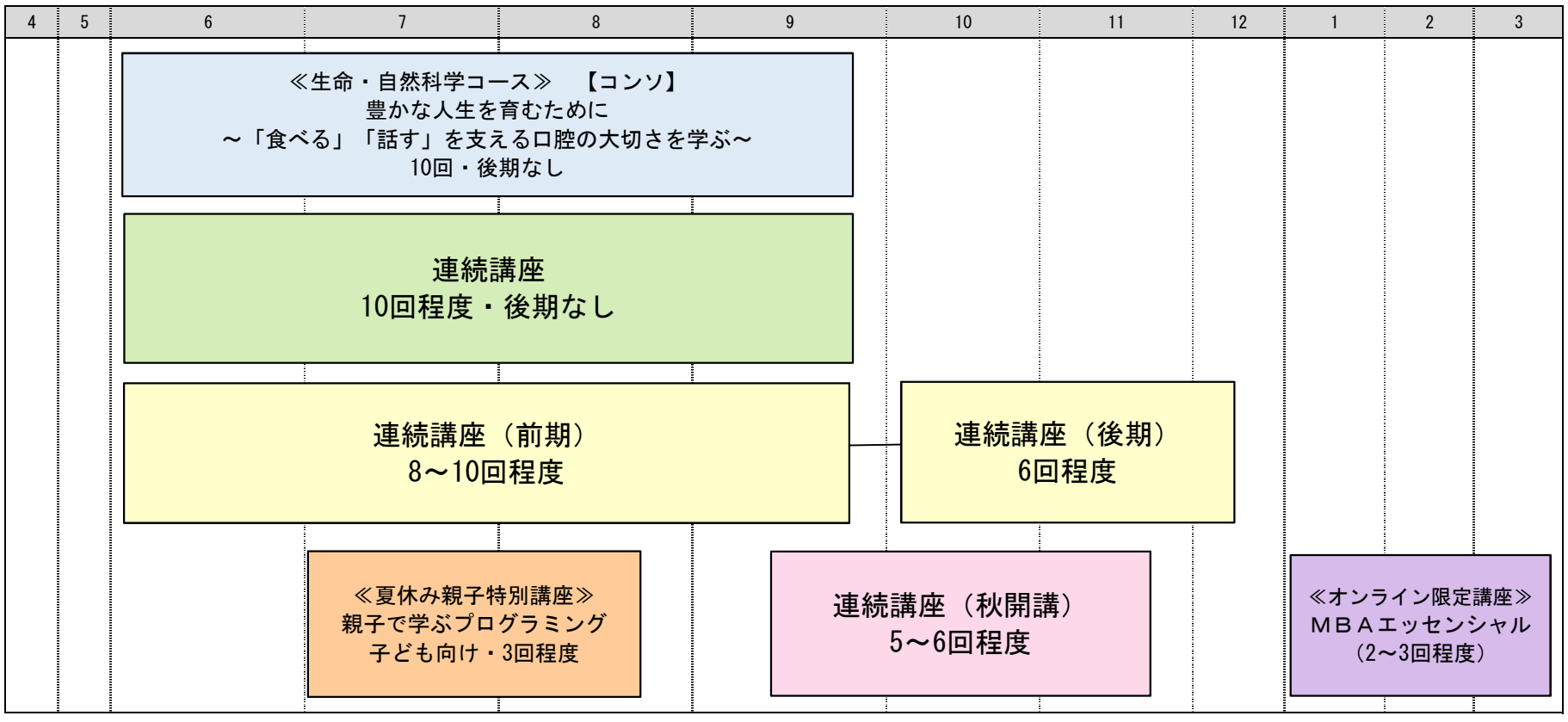
令和5年度（第29期）　にいがた市民大学開設講座体系(案)

＜課　題＞		＜対応講座案＞	＜実施講座案＞
＜市民大学開設の目的＞ ・市民の高度で専門的な学習要求に応える。 ・学習の成果を地域に還元し、誇りを持って自立する市民を育む。 **＜市に求められていること＞** ・講義の一部にビデオ会議アプリなどの活用による遠隔講義導入の検討や課題整理を行い、学習環境の整備を図るとともに事業の在り方を検討し見直しを行う。 ・いつでも誰でも学べる多様な学習機会の提供により市民満足度の向上を目指す。	専門的の高い学習機会の提供	＜継続＞ 大学コンソーシアム連携講座	≪生命・自然科学コース≫ 豊かな人生を育むために～「食べる」「話す」を支える口腔の大切さを学ぶ
	にいがた市民大学の認知度の向上 新たな受講者の獲得	＜継続＞ 多くの受講者が見込める、魅力的な講座	
	自主グループ化につながる講座の実施	＜継続＞ 後期講座実施を前提とする講座	
	次世代へのアプローチ	＜継続＞ 夏休みの子ども向け講座（体験型）	≪夏休み親子特別講座≫ 親子で学ぶプログラミング
	多様な学習機会の提供 （10講座は長く受講しにくいという受講者意見に対応。テーマによっては5～6回程度が適切。）	＜継続＞ 5～6回程度の講座	
	多様な学習機会の提供 新たな受講者層（現役世代）の獲得	＜新設＞ 講義方法をオンラインのみとする短期講座	ＭＢＡエッセンシャル
	新たな受講者の獲得に向けた公開講座の充実 ※R3実施の5講座のうち、3講座において受講者が15名以下（定員100人名）	＜見直し＞ 現状の「各講座に1講座」にこだわらず、公開講座を設定	講座コーディネーター案の提出後に決定（第4回・第5回運営委員会）

＜講座数（案）＞

・コンソーシアム連携講座を1講座、連続講座を3講座、夏休み特別講座を1講座、オンライン講座を1講座
　→コンソーシアム連携講座以外について、運営委員アイディア・市民提案講座を基に選定。
・4つの開設コースごとに1講座を目途に、講座を開設する。
・受講者が多く見込まれる講座を公開講座として設定する。（コンソ以外に2～3講座）

※開設コースとねらい

現代の社会問題	現代社会が持つ今日的テーマについて多面的に学び考える
人間理解	人間の本質や人文科学的な事柄について学び考える
新潟学	新潟という地域を理解し、これからの新潟について学び考える
生命・自然科学	生命、自然現象や科学技術などの事柄について学び考える

＜スケジュールイメージ＞